第9回 ハンドアウト:情報の収集・整理 2

この回では,「メディアリテラシー(情報を読み解き,真偽を見抜く力)」を実践的に学びます.

今日の目標

- 情報メディア・表現メディア・伝達メディアの違いを説明できるようになる.
- コミュニケーションの形態を理解し、整理できるようになる.
- 情報の真偽を判断するための視点を身につける.
- フェイクニュースをチェックリストで検討し、その根拠を言語化できるようになる.

1. メディアの分類

	分類	内容	例
•	情報メディア	中身の情報そのもの	ニュース,広告,漫画
	表現メディア	表現の形式や形態	文章,画像,動画,音声
,	伝達メディア	情報の届け方・媒体	———— 紙,テレビ,SNS,Web

自分がよく使うメディアの例を書こう:

- 情報メディア: ______
- 表現メディア:______
- 伝達メディア:_____

2. コミュニケーションの形態

分類軸	形態	説明	例
発信人数	1対1	一人が一人に伝える	LINE, メール
発信人数	1対多	一人が複数に伝える	ブログ, SNS投稿
発信人数	多対多	複数人が相互にやりとり	掲示板,グループチャット
タイミング	同期型	リアルタイムでやり取り	通話,ビデオ会議
タイミング	非同期型	時間差でやり取り	メール,掲示板

自分がよく使うコミュニケーション手段:	

3. 虚構新聞チェック

記事:「AI活用、年金受給年齢決める『高齢者関数』 有識者団体が試案」

チェックリスト (Yes / Noで記入)

No	視点	チェック内容	Yes/No
1	出典・発信元	発信者は信頼できるか?	
2	日付・時期	古すぎたり未来の話では?	
3	表現・語調	あおる・笑わせる表現があるか?	
4	内容の現実性	実現可能?科学的?常識的?	
5	他の出典確認	他のニュースで取り上げられているか?	

総合判断

□本当のニュースだと思う □フェイクニュースだと思う

判断の根拠(最も重要だと思ったチェック項目とその理由)

4. メディア構造を考える

虚構新聞の記事を3つの観点から分析してみよう:

表現メディア: どんな文章表現が使われている?

伝達メディア: SNSと新聞、どちらで見たら信じやすい?

情報メディア: この情報の目的は? (ニュース?娯楽?皮肉?)

5. まとめ・発展課題

今日の学び・気づき・活かせそうなこと:

発展課題: SNSで最近見た「怪しい情報」を挙げ、上記のチェックリストで判定してみよう.